

テスト国語

一、次の文を文節に分けなさい。

私が小学校に行っていたときに知り合った。

ある夏の蒸し暑い日のことだった。

他人に手伝ってもらうことばかり考えていてはだめだ。

あらゆるものを押し流して水は流れていく。

君のような選手が欲しいと思っていたところだ。

二、傍線をつけた動詞について、A活用の種類と、B活用形を答えなさい。

町の歴史をよく調べ、自分なりにまとめて発表しなさい。

彼は他人のことが信じられなくなっていた。

私が呼ぶと、ポチは走ってきた。

部活と勉強を両立するのは大変だ。

三、次の各文の傍線部は文の成分としては何になるか。あとから適切なものを選んで記号で答えよ。

見渡すかぎり花畑の続く野原には、一人の農夫の姿も見えない。

雪が降ってきたので、みんなは家の中に入ってしまった。

向こうに見える島々、あれが齒舞諸島です。

現在の日本に必要なのは、強い指導力のある政治家だ。

ア主部

イ述部

ウ修飾部

エ接続部

オ独立部

四、次の各文の傍線の語が直接修飾する文節を抜き出さなさい。

島国という文化風土はなかなか外来のものを受け入れない性格をもっている。

海岸へ向かって歩いていくうちに、ふと通りがかりにあった小さな店が私の心をとらえた。

五、傍線を付けた単語の品詞名を答よ。

にっこり微笑んだ。

自転車は便利だ。

雨がしとしと降っている。

小さな建物がある。

彼の体は大きかった。

ある日、私は重要な発見をした。

受験勉強を五時間もした。

私たちはここで生活しています。

病気の人たちを救うのが彼らの役目です。

私は自分の夢を決してあきらめない。

五					四	三	二				一				答									
動詞	名詞	形容詞	副詞	副詞	受け入れない	ウ	A サ行変格活用	A 五段活用	A 上一段活用	A 下一段活用	君のような一選手が一欲しいと思っ て一いた一ところだ。 あらゆる一ものを一押し流して一水は 一流れて一いく。 他人に一手伝って一もらう一ことは かり一考えて一いては一だめだ。 ある一夏の一蒸し暑い一日の一事 だった。 私が一小学校に一行って一いた一 ときに一知り合った													
						エ																		
副詞	代名詞	連体詞	連体詞	形容動詞	とらえた	オ	B 連体形	B 終止形	B 未然形	B 連用形														
						イ																		
															点									